

オークニーで働くとは オークニー会社紹介に替えて

世界的に名を知られる企業

オークニーは 2002 年に横浜市で設立されました。2004 年に世界で初めてオープンソースツールの MapServer と GRASS GIS を国際化 (i18N 対応) し、2006 年にはオープンソースの経路探索ツール pgRouting をスイスの Camp2Camp 社と共同開発し、リリースしています。海外の開発メインストリームとの関係も深く、世界最大のオープンソース地理情報技術に関するカンファレンス (FOSS4G) への成果発表と財政的支援などを継続して行っており、地理情報分野におけるオープンソースのコミュニティでは世界的に名前を知られる企業です。

オークニーが事業領域とする地理情報分野では、地理的な事象の研究、探査、問題解決、適正化の需要は年と共に高まっています。オークニーは、こうした需要に対して、最新のオープンソーステクノロジーを駆使して対応するという点で、日本国内はもちろんのこと、世界でも数少ない企業の 1 つです。

オークニーの技術陣

オークニーの技術陣のコアメンバーは、大学や大学院で地理情報、建築土木、情報工学などの専門知識を学んで、なおかつソフトウェア開発の知識を持つメンバーから構成されています。国内だけでなく、外国籍のメンバーも複数名在籍しています。こうしたメンバーに加え、システム開発の経験豊富なエンジニアが協業することで、情報システムとしての Web マッピングシステム構築に関して、幅広い力を有しています。

オークニーの業務の現状

Web 系の地理情報システム構築が主力

オークニーでは、複雑で多様な地理データをビジュアライズする Web マッピングシステム (いわゆる地図サイト) の開発を数多く手がけています。顧客には官公庁・企業の研究部門や自治体が多く、外国企業からの業務も行っています。

地理情報システム (GIS) 開発のプロジェクト規模はそれほど大きくなく、2~6 ヶ月程度と比較的短期です。このため一人ないし 2~3 名で設計から開発、導入までを少数精鋭で担当することが多くなります。

自社製品、サービスの提供を積極的に展開

同時に、オークニーでは、自社製品 (オープンソース地理情報ツールのパッケージディストリビューション) のメンテナンス、テクニカルサポート、コンサルティングサービス、

トレーニングなどを提供し、日本のオープンソース地理情報システム多岐にわたる業務を担当しています。また、地理情報システムの専門需要家向けの Web サービスも提供しています。

最近の傾向

上記の業務に加え、最近急速に、Web マッピングシステムの開発業務が増加しています。具体的には、地図サービスプロバイダや、地図サービスを自社の Web サイトで活用している企業等のマッピングシステムの開発業務が増えています。

Web マッピングシステムは Web アプリケーションの一形態であり、スキルのには Web アプリケーションの開発経験を持ったエンジニアが核となって構成されています。Web マッピングシステムの技術上の特徴の 1 つとして、バックエンドで用いるデータベースを「空間データベース」に拡張して使用されることが挙げられます。また、Web における通常のオープンスタンダードに加え、地理情報のスタンダードも広く使われています。オークニーの技術陣は、地理情報の取り扱いに関する豊富な知識を背景に、情報システムとしての Web マッピングシステム構築を行っています。

プロジェクトの規模は比較的大きく、開発手法も一般的な IT システム開発のものに近く、また期間も数ヶ月から 1 年ほどと長くなります。このため、数名でチームを組んで担当することが多くなります。

安定した成長

オークニーは 2002 年の設立以来、お客様の支援を受けて堅調に売上を伸ばしておます。

この理由ですが、地理情報システムの開発では、オープンソースツールの採用が進んでいることにより、その先駆者であるオークニーに特命で発注する業務件数が増加していることがまず挙げられます。さらに、Web マッピングシステムの開発案件が増加しており、この 2 つの要因が重なって、急成長を実現しています。なお、この両分野共に、今後も安定した業務量の増大が見込まれます。

今後の体制増強

昨年 12 月に、オークニーはオフィスをみなとみらい地区の新築オフィスビルに移転し、今後の成長に対応した十分なオフィススペースを確保しました。

そして、最も重要なのが、業務に対応する人材の拡充に他なりません。

必要となる人材

オークニーの業務は地理情報システム (GIS) 分野にありますが、クライアント型の商用

GIS ツールを使って、何らかのコンサルティングや解析作業を受託するものではありません。多種多様なデータ形式を理解して、駆使してお客様の求めるシステムを開発し、あるいはサービスを提供していく Web ベースのソフトウェア開発プロジェクトが主体です。この点で、解析スキルやクライアント型の商用 GIS ツールの操作スキルは求められません。

必要とする人材ですが、やはり IT への関心とともに、地理的な視点や興味を持った人が望ましいことは言うまでもありません。事実、大学や大学院で地理学や GIS を専攻したメンバーが多数在籍して活躍しています。そうした興味や専門知識を背景に、多種多様なデータ形式を理解して、駆使してお客様の求めるシステムを開発し、サービスを提供していくことが出来る人材が必要です。つまり、「地理情報分野の興味や知識」+「システム開発のスキル」=「オークニーが求める人材」です。

オークニーでのスキル獲得とキャリア形成

入社時点で、前述の「地理情報分野の興味や知識」+「システム開発のスキル」を十分にバランス良く兼ね備えている人は、実際にはなかなかいません。多くは、いずれか片方についてある程度の経験があるものの、もう一方は業務レベルとまでは行かないという方になります。特に、新卒者（第二新卒者も含む）の場合は、どちらも未知数ということがあり得ます。

幸い、オークニーには、いずれの分野においても知識と経験が豊富な先輩がいます。そして、自らを鍛えてくれるリアルな開発プロジェクトが多数あります。そうしたチームの一員となることで、半年から 1 年間でかなりの知識が身に付くでしょう。また、日本にいながらにして海外の開発メインストリームとの関係が深いため、他の会社では実現し得ない、最新の動向を知ることが出来ます。

こうして、オークニーで数年の経験を積むことで、地理情報分野におけるシステム開発のスキルは一通り身に付きます。さらに経験を積むことで、顧客へのコンサルティングスキル、プロジェクトのマネジメントスキル、製品・サービスの企画運営スキルを身につけることも可能です。

ところで、副次的なスキルとしては、英語によるコミュニケーションスキルの上達が期待できます。外国籍社員とのコミュニケーションは、基本的に英語で行われます。また、オープンソースツールの開発メインストリームとのコミュニケーションは全て英語になるため、いやでも英語のコミュニケーションスキルは身に付きます。

解決すべき課題

オークニーには、様々な可能性があります。同時に解決すべき課題も沢山あります。一つめは、急速に業務量が増大したこともあり、数多くの開発プロジェクトを効率よく運営するノウハウが、組織としてまだ十分に身に付いていないことです。これは、開発プロ

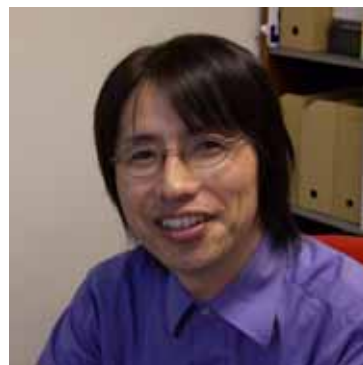
プロジェクトの運営経験が豊富にあるメンバーが参加することで、かなりのところは解決すると思われませんが、それでも一朝一夕にはいきません。

次に、顧客から求められる、最新のオープンソーステクノロジーに基づく高品質なシステム提供に対して、必ずしも完全に答え切れていない点です。この問題は、オープンソーステクノロジーの進化が大変早いことと、テーマが多岐にわたることにより、どうしても技術陣全員が全てをカバーしきれないことと、増大する業務量に対して、ゆとりを持った人員配置ができない（特に繁忙期）という状況から発生しています。この問題の解決に関しては、当該分野に精通する技術メンバーを増員するだけでなく、新しく入社したメンバーのスキルを向上させていくことで対処しています。

最後に、率直に申し上げて、評価と待遇の問題があります。会社が設立されてから6年が経過しましたが、現在の業務体制ができあがってきたのはわずか3年ほど前になります。このため、社員の社歴もまだ浅く、いずれも多彩な経歴を持っていることもあり、評価と待遇についての方針を固めている最中です。ここ1年で大きく改善していますが、経営者としては、社員が安心して人生設計を立てられ、努力と成果が報われるような方向に持っていくことを最優先の課題としています。

以上のいずれの点においても、ノウハウを持ち、解決の力になっていただける人を心からお待ちしております。事業そのものは、大変順調です。あとはその勢いを一緒に前に進めていく仲間との出会いを楽しみにしております。ぜひ、オークニーにご応募ください。

2008年6月



株式会社オークニー 代表取締役

森 亮